

1

1. 整数と小数 ①

名前

組 番

ねらい

小数は整数と同じ十進位取り記数法によって表れていることを理解する。

考技 ⑨

① □の中にあてはまる数を書きましょう。

① $63.497 = 10 \times \square + 1 \times \square + 0.1 \times \square + 0.01 \times \square + 0.001 \times \square$

② $108.16 = 100 \times \square + 10 \times \square + 1 \times \square + 0.1 \times \square + 0.01 \times \square$

③ $3.904 = 1 \times \square + 0.1 \times \square + 0.01 \times \square + 0.001 \times \square$

④ $520.003 = \square \times 5 + \square \times 2 + \square \times 3$

⑤ $34.938 = \square \times 3 + \square \times 4 + \square \times 9 + \square \times 3 + \square \times 8$

② 次の数を書きましょう。

① 1を2個、0.1を3個、0.01を5個あわせた数

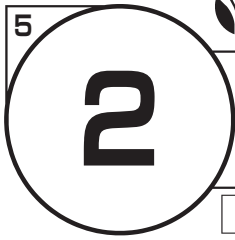
② 0.01を86個あわせた数

③ 0.001を5400個あわせた数

③ ①、②、③、⑧、⑨の5まいのカードを並びかえて、いちばん大きい数と小さい数をつくりましょう。

いちばん大きい数

いちばん小さい数



1. 整数と小数 ②

名前

組 番

ねらい

10倍、100倍や1/10、1/100などの大きさの数の関係を
小数点の移動に着目して理解する。

考技 (知)

① 次の数を書きましょう。

① 2.42を10倍した数

② 30.502を100倍した数

③ 14.6を $\frac{1}{10}$ にした数

④ 7.4を $\frac{1}{100}$ にした数

② 次の () の中にはあてはまる言葉を、□の中にはあてはまる数を書きましょう。

① 整数や小数を10倍、100倍すると、位が上がって小数点は、

それぞれ () へ1けた、□ けたと移ります。

② 整数や小数を □ 倍すると、位が上がって小数点は右へ3けた
移ります。

③ 次の数は () の中の数を何倍した数でしょう。

① 52.02 (5.202)

 倍

② 2.38 (0.0238)

 倍

③ 86320 (86.32)

 倍

④ 3400.2 (34.002)

 倍

3

2. 体積 ①

名前

組 番

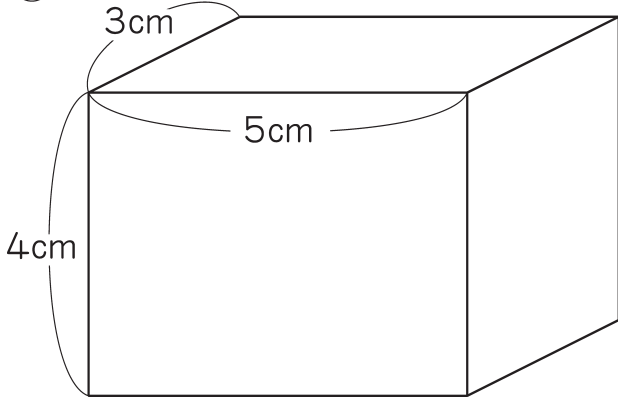
ねらい

直方体と立方体の大きさを比べることをとおして、
体積の比較・測定の仕方や意味について考える。

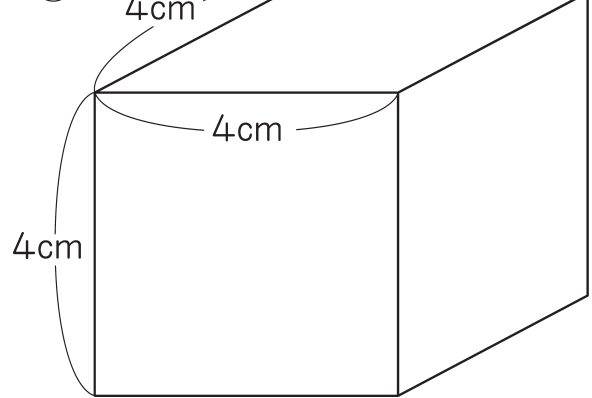
③ 技 知

① 下のような箱の大きさの比べ方を考えよう。

あ



い

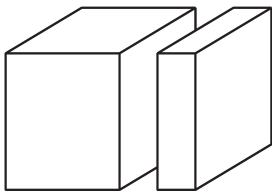


① 次の2人の説明の () にはあてはまる言葉を、□の中にはあてはまる数を書きましょう。

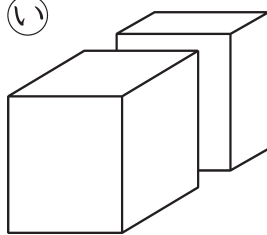
あきお さん

ぼくは () を取り

あ



い

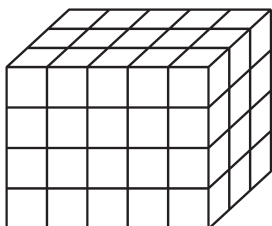


のぞいて、残りくらで比べてみようと考えたよ。

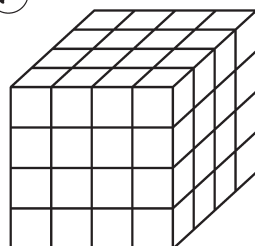
てるひろ さん

ぼくは、一辺が □ cmの立方体の数を数えて比べてみようと考えたよ。

あ



い



そうしたら () の方が、
大きいことがわかったよ。

4

2. 体積 ②

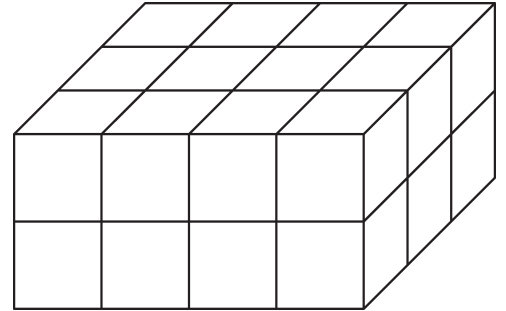
名前

組 番

ねらい 体積の単位「立方センチメートル (cm³)」を知る。

考技 (知)

1 | 辺が1 cmの立方体の積み木を使って、右のよ
うな直方体を作りました。



① | 辺が1 cmの立方体の体積は何cm³でしょうか。

()

② 右の直方体は| 辺が1 cmの立方体がいくつ
あるでしょうか。

()

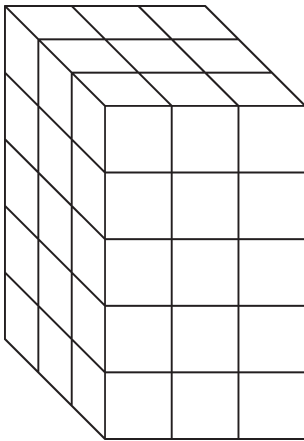
③ この直方体の体積は何cm³でしょうか。

()

2 | 1 cm³の立方体を使って、下の図のような図形を作りました。

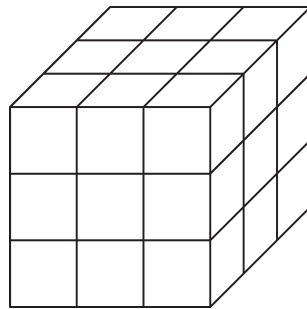
それぞれの図形の体積を求めましょう。

①



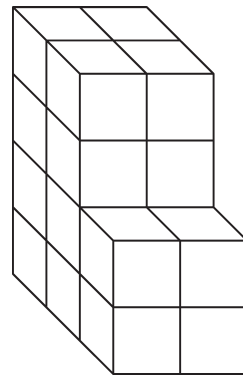
()

②



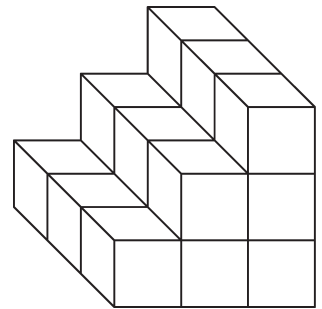
()

③



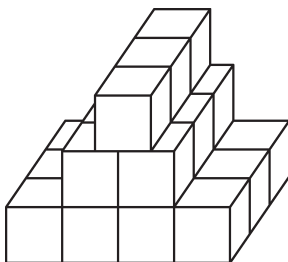
()

④



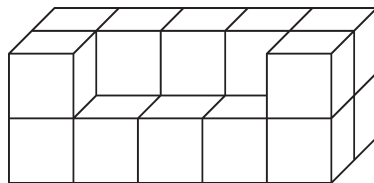
()

⑤



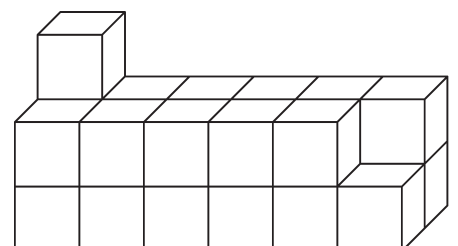
()

⑥



()

⑦



()

5

2. 体積 ③

名前

組 番

ねらい 直方体の体積を計算で求める方法を考え、公式をまとめる。

④ 技 ④

① 右の直方体の体積を計算で求める方法を考えましょう。

次の () の中にあてはまる言葉を、□にあてはまる数を書きましょう。

① □ cm^3 の立方体は何個ならぶかで考えます。

② 1だんめのたてには 1cm^3 の立方体が □ 個ならびます。

③ 1だんめの横には6列ならぶので、1だんめにある 1cm^3 の立方体の数を求める式は、

□ × □ です。

④ 1だんめの数が □ だん積みです。

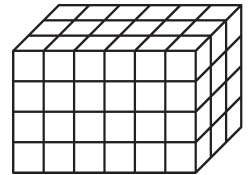
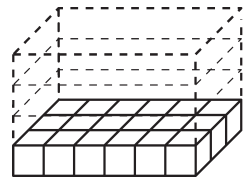
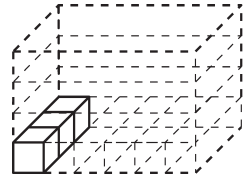
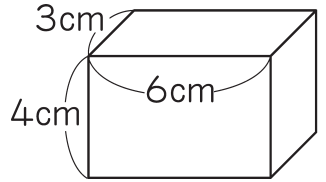
だから、全部の 1cm^3 の立方体の数を求める式は、

□ × □ × □ です。

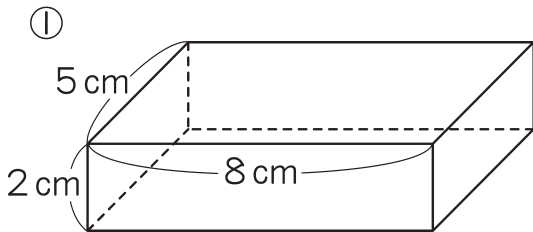
⑤ この直方体の体積は、□ cm^3 になります。

⑥ 直方体の体積を求める公式は、

たて × () × () です。

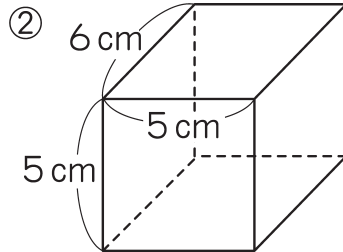


② 次の直方体の体積を求めましょう。



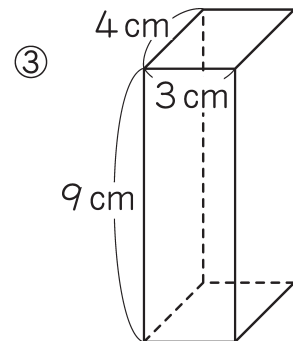
<式>

答え



<式>

答え



<式>

答え

6

2. 体積 ④

名前

組 番

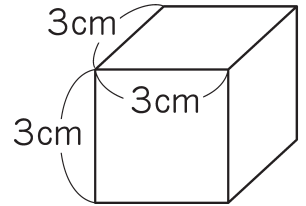
ねらい 立方体の体積を計算で求める方法を考え、公式をまとめる。

④ 技 知

① 右の立方体の体積を計算で求める方法を考えましょう。

次の () の中にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

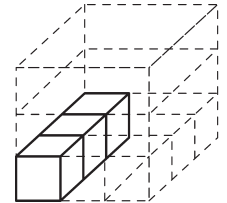
① □ cm³の立方体は何個ならぶかで考えます。



② 1だんめのたてには1 cm³の立方体が □ 個ならびます。

③ 1だんめの横には3列ならぶので、1だんめにある1 cm³の立方体の数を求める式は、

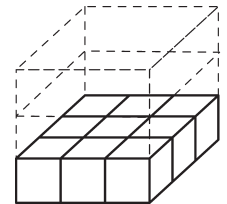
□ × □ です。



④ 1だんめの数が □ だん積みです。

だから、全部の1 cm³の立方体の数を求める式は、

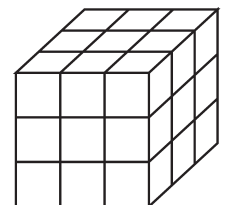
□ × □ × □ です。



⑤ この立方体の体積は、 □ cm³になります。

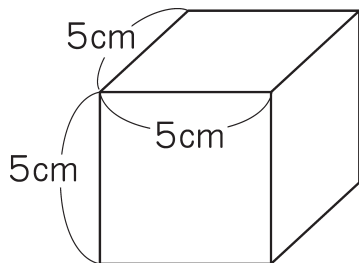
⑥ 立方体の体積を求める公式は、

() × () × () です。



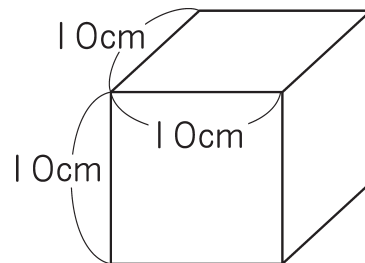
② 次の立方体の体積を求めましょう。

①



<式>

②



<式>

答え _____

答え _____

7

2. 体積 ⑤

名前

組 番

ねらい 体積の単位「 m^3 」を理解する。

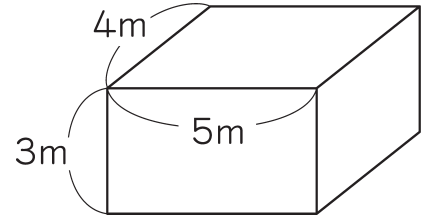
考(技)(知)

① たて4 m、横5 m、高さ3 mの直方体があります。

この直方体の体積を求めます。

次の()の中にあてはまる言葉や単位を、

の中には数を書きましょう。



① 1辺が1 mの立方体の体積は、

() です。

② 右の直方体の体積を求める式は、

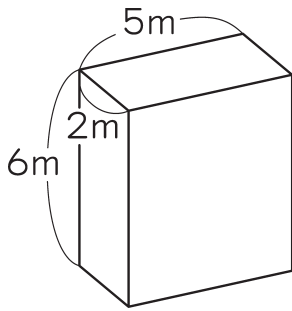
\times \times =

③ この直方体の体積は、

() です。

② 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。

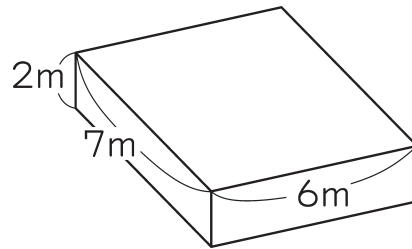
①



<式>

答え _____

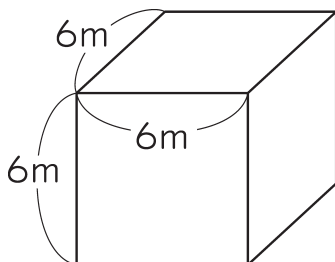
②



<式>

答え _____

③



<式>

答え _____

8

2. 体積 ⑥

名前

組 番

ねらい 「m³」と「cm³」の関係を理解する。

考技 ⑧

① 次の□の中にあてはまる数を書きましょう。

① 1 m³の立方体の中に1 cm³をならべていくと、

1だんめのたてには1 cm³の立方体が 個

ならびます。

② 同じように、1だんめの横には 個

ならびます。

③ したがって、1だんめには全部で1 cm³の立方体が

× で 個

ならびます。

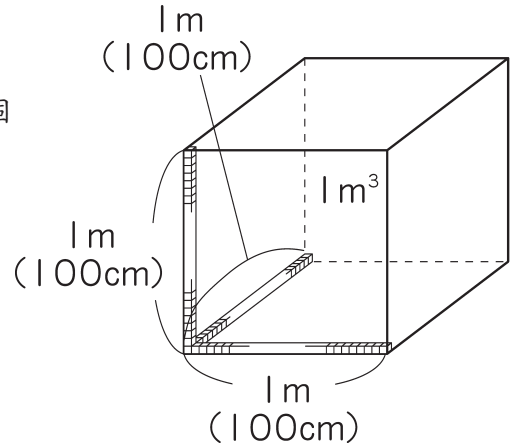
④ 高さが100cmだから、1だんめにならべた立方体が だん積めるので、

1 m³の立方体にならべられる1 cm³の数は

× × 個です。

↑ たての個数 ↑ 横の個数 ↑ 高さの個数

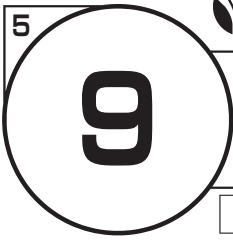
⑤ だから、1 m³ = cm³となります。



② 次の□の中にあてはまる数を書きましょう。

① 3 m³ = cm³

② 4000000cm³ = m³



2. 体積 ⑦

名前

組 番

ねらい 容積、内のりについて理解する。

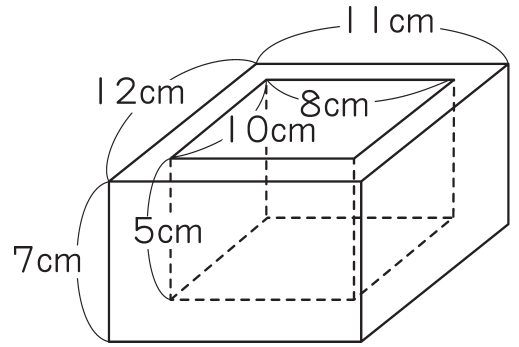
考技 (知)

① 次の () の中にあてはまる言葉を、□の中にはあてはまる数を書きましょう。

① 右のような入れ物などの

内側のたて、横、深さのことを

() といいます。



② 入れ物の内側いっぱいの体積を、

その入れ物の () といいます。

右の入れ物の場合、() は

たて × () × ()

の式で求められます。

③ 右の入れ物の () は、

たては10cm、横は □ cm、深さは □ cmになります。

④ この入れ物の () は

$\square \times \square \times \square$ で、 $\square \text{ cm}^3$ です。
 ↑ たて ↑ 横 ↑ 深さ

10

2. 体積 ⑧

名前

組 番

ねらい 「L」と「cm³」の関係を理解する。

考技 ⑧

① 次の□にあてはまる数を書きましょう。

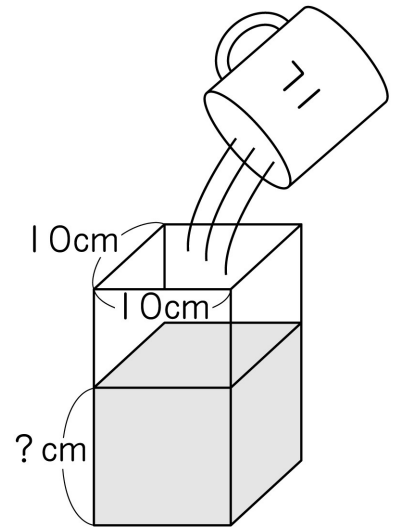
① 1Lの水をたて10cm、横10cmの入れ物に入れると、

高さは □ cmになります。

② このことから、

1Lは □ × □ × □ = □

1L = □ cm³であることがわかります。



② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

① 10L = □ cm³

② 2000cm³ = □ L

③ 0.75L = □ cm³

④ 10mL = □ cm³

⑤ 3000000cm³ = □ m³ = □ L

⑥ 6m³ = □ L

⑦ 500L = □ m³

⑧ 1.5L = □ cm³

11

2. 体積 ⑨

名前

組 番

ねらい

直方体の高さに伴う体積の変わり方について理解し、
比例との意味を知る

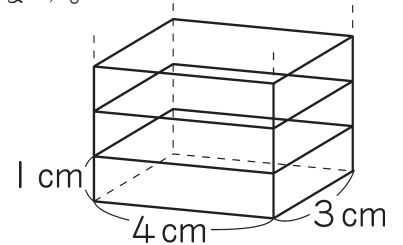
考技 ⑨

① たて3 cm、横4 cmの直方体の高さと体積の関係を考えましょう。

① 高さを1 cm、2 cm、……で変えると

体積はどのように変わるでしょうか。

下の表を完成させましょう。



	2倍		2倍				
	3倍						
高さ (cm)	1	2	3	4	5	6	
体積 (cm ³)							
	□ 倍		□ 倍				
	□ 倍						

② 上の表で、高さが2倍、3倍、……になると、体積はどのように変わるでしょうか。

上の表の□に数を書きましょう。

② 次の () の中にあてはまる言葉を、□の中にはあてはまる数を書きましょう。

① 2つの数量があって、一方の値が2倍、□倍、……になると、

それにもなって、もう一方の値が□倍、3倍、……になるとき、

この2つの数量は () するといいます。

② たてと横の長さが決まっているとき、直方体の体積は

高さに () します。

12

2. 体積 ⑩

名前

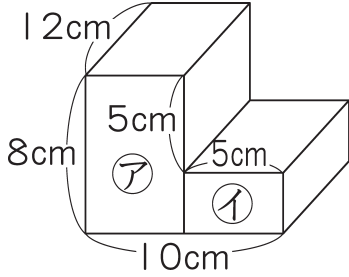
組番

ねらい 直方体を組み合わせた複合図形の体積の求め方を考える。

考(技)知

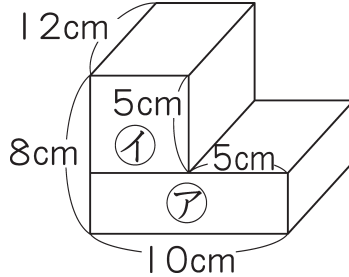
① 右のような立体の体積をくふうして求めましょう。

① 2つの直方体に分けて体積を求めましょう。



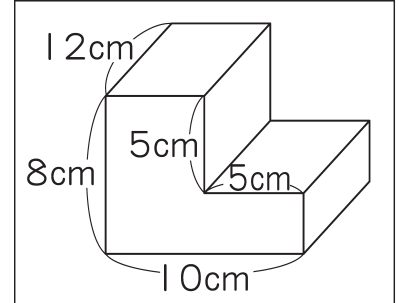
<式>

答え

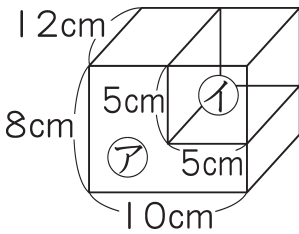


<式>

答え



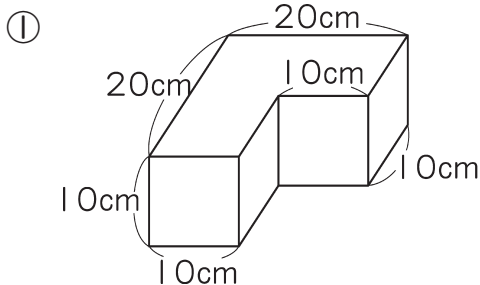
② ①を加えた大きな直方体の体積(ア)から①の直方体の体積をひいて求めましょう。



<式>

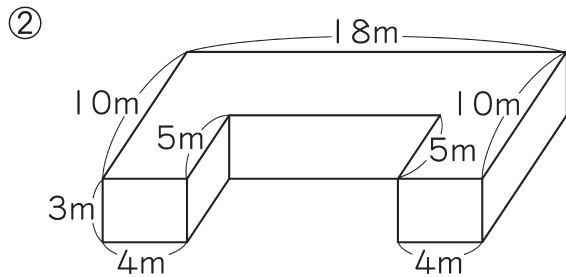
答え

② 下のような立体の体積をくふうして求めましょう。



<式>

答え



<式>

答え

13

2. 体積 ⑪

名前

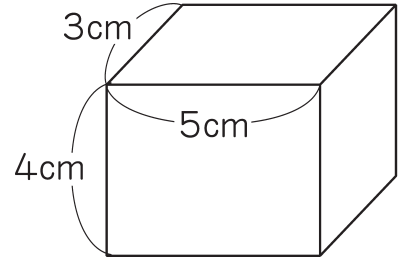
組 番

ねらい

直方体の形をしたお菓子を条件に合うように詰められる箱の見取り図を考える。

④ ⑤ 知

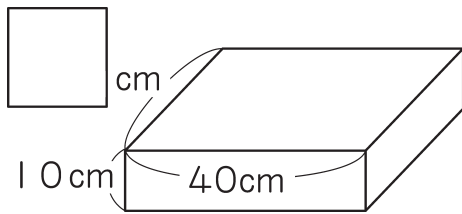
① 右のような直方体の形をしたおかしを箱につめて、
宅配便で送ります。



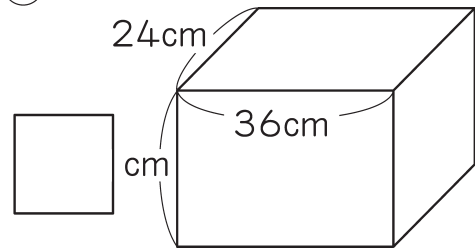
Mサイズの送料で送るには、箱の大きさを、たて、横、高さの3つの辺の長さの和が80cm以下の直方体になればよいそうです。

① Mサイズの送料で送ることができる箱になるように見取り図をかきました。□の中にはあてはまる数を書きましょう。

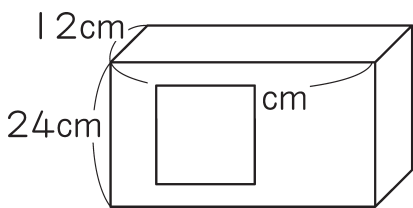
あ



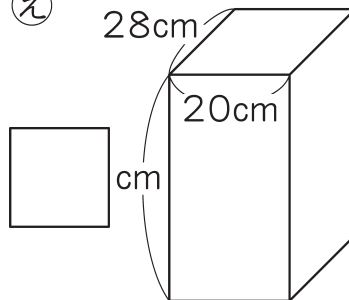
い



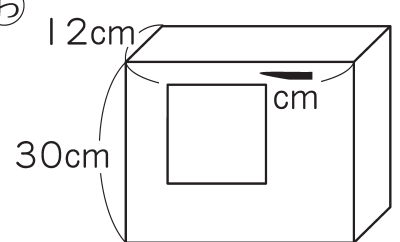
う



え



お



② 上のあ～おの箱の見取り図の中で、最も多くのおかしをつめられる箱の見取り図はどれでしょうか。また、何個つめることができるでしょうか。

() の箱の見取り図 個

14

3. 小数のかけ算 ①

名前

組 番

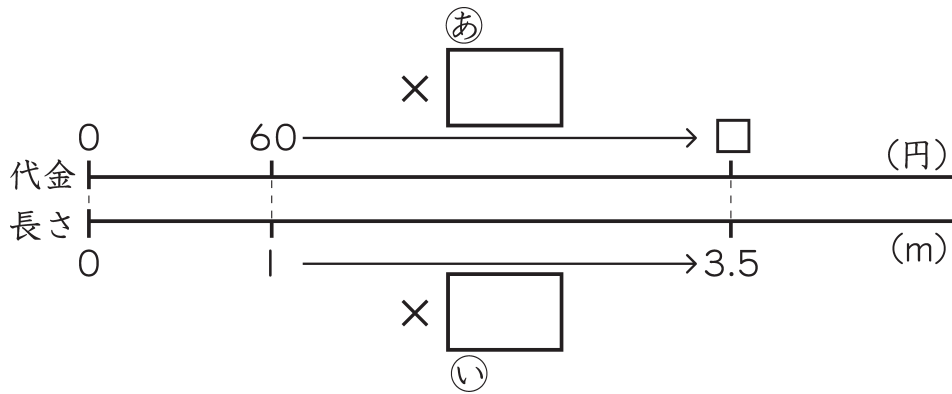
ねらい

数直線をもとに、乗数が小数でも乗法の式で表せることを理解する。

考技 (知)

- ① 1 mのねだんが60円のリボンがあります。
このリボン3.5mの代金は何円でしょうか。

① 下の数直線で、(あ)と(い)にあてはまる数を書きましょう。

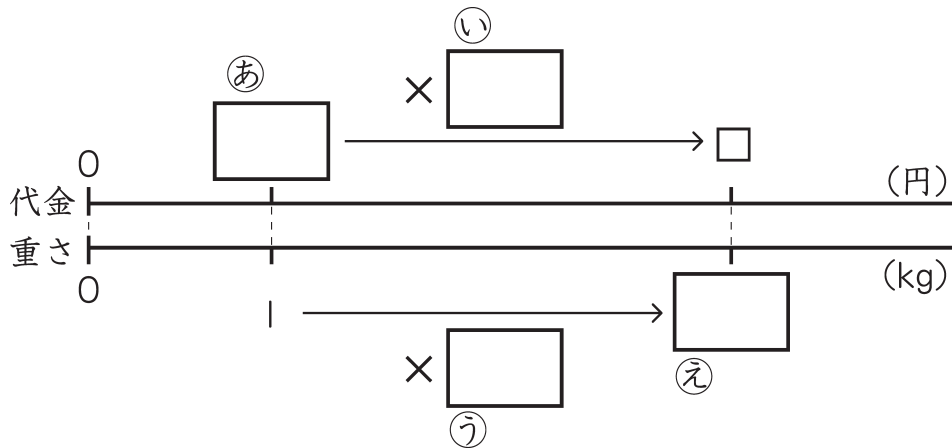


② 数直線をもとにして、3.5mの代金を求める式を考えましょう。

<式>

- ② 1 kgで700円のお米が売っています。
このお米2.3kgの代金は何円でしょうか。

① 下の数直線で、(あ)・(い)・(う)・(え)にあてはまる数を書きましょう。



② 数直線をもとにして、2.3kgの代金を求める式を考えましょう。

<式>

15

3. 小数のかけ算 ②

名前

組 番

ねらい 整数×小数の乗法の計算の仕方を考える。

③ 技知

1 1m70円のリボンを2.5m買います。代金は何円になるでしょうか。

① 2.5mの代金を求める式を書きましょう。

<式>

② たかしさんとあやのさんが、代金の求め方を説明しています。

2人の説明と同じ図と式を選んで、記号を()の中に書きましょう。

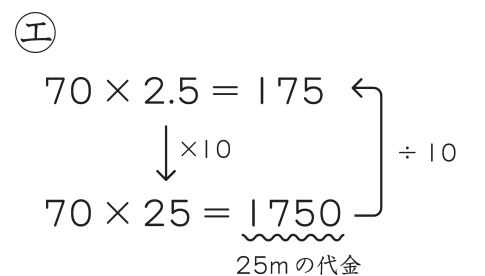
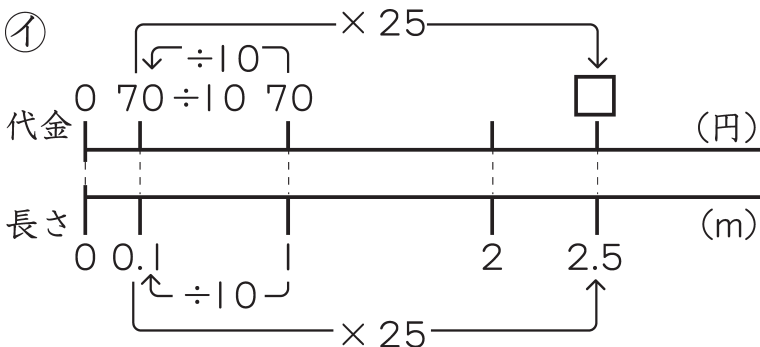
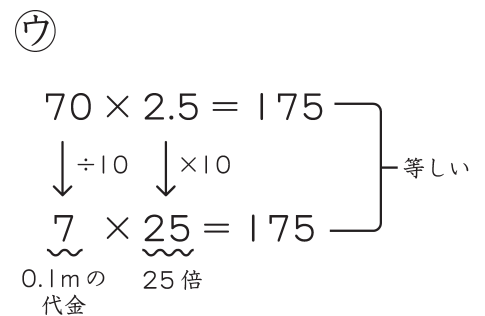
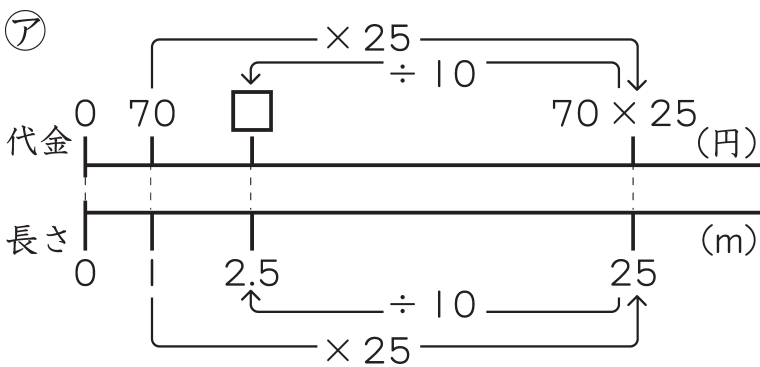
たかし：2.5mは0.1mの25倍だから、0.1mの代金を25倍すると2.5mの代金を求めることができます。

図() 式()

あやの：25mの代金は70円の25倍で求められるので、まずは25mの代金を求めて、2.5mの代金は25mの代金の $\frac{1}{10}$ にすれば求めることができます。

図() 式()

<図>



16

3. 小数のかけ算 ③

名前

組 番

ねらい

小数×小数の乗法計算を理解し、筆算ができる。

考(技)(知)

① 小数のかけ算の筆算のし方を考えましょう。□の中にあてはまる数を書きましょう。

$\begin{array}{r} 5.3 \\ \times 4.6 \\ \hline 318 \\ 212 \\ \hline \square \end{array}$	$\xrightarrow{\square \text{ 倍}}$ $\xrightarrow{\square \text{ 倍}}$ $\xleftarrow{\square}$	$\begin{array}{r} 53 \\ \times 46 \\ \hline 318 \\ 212 \\ \hline 2438 \end{array}$
---	--	--

② 次の計算をしましょう。

①
$$\begin{array}{r} 7.3 \\ \times 1.6 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 2.4 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 6.3 \\ \times 3.9 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 5.3 \\ \times 0.4 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 3.8 \\ \times 0.7 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 0.6 \\ \times 4.3 \\ \hline \end{array}$$



17

3. 小数のかけ算 ④

名前

組 番

ねらい

被乗数が1/100の位までの小数の乗法計算の仕方を理解し、筆算の仕方をまとめる。

考(技)(知)

① 小数のかけ算の筆算のし方を考えましょう。□の中にあてはまる数を書きましょう。

$\begin{array}{r} 2.58 \\ \times 3.4 \\ \hline 1032 \\ 774 \\ \hline \end{array}$	$\xrightarrow{\square \text{ 倍}}$ $\xrightarrow{\square \text{ 倍}}$ $\xleftarrow{\square}$	$\begin{array}{r} 258 \\ \times 34 \\ \hline 1032 \\ 774 \\ \hline 8772 \end{array}$
<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 25px; margin: 0 auto;"></div>	

② 次の計算をしましょう。

①
$$\begin{array}{r} 2.43 \\ \times 5.3 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 8.06 \\ \times 4.7 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 4.56 \\ \times 27.7 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 0.63 \\ \times 7.2 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 10.6 \\ \times 4.43 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 0.03 \\ \times 0.2 \\ \hline \end{array}$$



18

3. 小数のかけ算 ⑤

名前

組 番

ねらい

乗数が1/100の位までの小数の乗法計算の仕方を理解し、筆算の仕方をまとめる。

考技(知)

- ① 小数のかけ算の筆算のしかたを説明します。
 () の中にあてはまる言葉を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 0.\textcircled{5}\textcircled{8} \quad \dots\dots 2\text{けた} \\
 \times 0.\textcircled{1}\textcircled{4} \quad \dots\dots 2\text{けた} \\
 \hline
 2\ 3\ 2 \\
 5\ 8 \\
 \hline
 0.\textcircled{0}\textcircled{8}\textcircled{1}\textcircled{2} \quad \dots\dots 4\text{けた}
 \end{array}$$

- ① 小数点がないものとして () のかけ算とみて計算する。
- ② 横の小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の () になるように、小数点をうつ。

- ② 次の計算をしましょう。

①
$$\begin{array}{r} 4.58 \\ \times 0.5 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 4.75 \\ \times 1.08 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 0.75 \\ \times 0.04 \\ \hline \end{array}$$

- ③ 右の筆算のまちがいを直して、正しい答えを書きましょう。

正しい答え

$$\begin{array}{r}
 7.6 \\
 \times 3.5 \\
 \hline
 380 \\
 228 \\
 \hline
 2.660
 \end{array}$$

19

3. 小数のかけ算 ⑥

名前

組 番

ねらい 乗数と積の大きさの関係を理解する。

考技 ⑨

① 次の () の中にあてはまる言葉を書きましょう。

- ① かけ算では1より小さい数をかけると、
積は、かけられる数より () になります。
- ② かけ算では1より大きい数をかけると、
積は、かけられる数より () になります。

② 次の () の中にあてはまる不等号を書きましょう。

- ① 500×4.6 () 500
- ② 500×0.08 () 500

③ 次の計算で、積がかけられる数より小さくなるのはどれでしょうか。

すべて選び、記号で答えましょう。

- ア 3.8×2.9 イ 6.5×0.2
- ウ 0.8×1.06 エ 52×0.46

()

3. 小数のかけ算 ⑦

名前

組 番

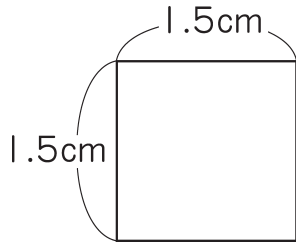
ねらい

辺の長さが小数でも、面積や体積の公式が適用できることを理解する。

考技 (知)

1 次の図形の面積を求めましょう。

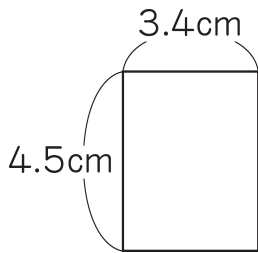
① 一辺の長さが1.5cmの正方形の面積。



<式>

答え _____

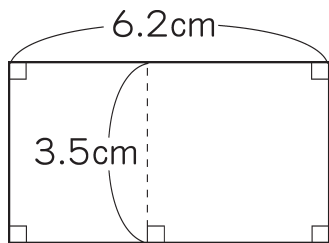
② たて4.5cm、横3.4cmの長方形の面積。



<式>

答え _____

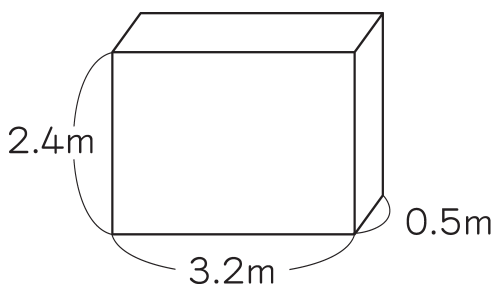
③ 下のような長方形の面積。



<式>

答え _____

2 次の直方体の体積を求めましょう。



<式>

答え _____

3. 小数のかけ算 ⑧

名前

組 番

ねらい

小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。

考技(知)

① 次の式は計算のきまりについて書いているものです。

計算のきまりが成り立つように、□にあてはまる▲や■、●の記号や式を完成させましょう。

① ● × ▲ = ▲ × □

② (● × ▲) × ■ = □ × (▲ × ■)

③ (● + ▲) × ■ = □ + □

④ (□) × ■ = ● × ■ - ▲ × ■

② 次の計算をくふうしてやりましょう。と中の式も書きましょう。

① $3 \times 0.6 \times 0.5$

② $1.8 \times 4.6 + 1.8 \times 5.4$

③ $3.4 \times 5.6 + 6.6 \times 5.6$

④ 0.9×4

22

4. 合同な図形 ①

名前

組 番

ねらい 合同の意味を理解する。

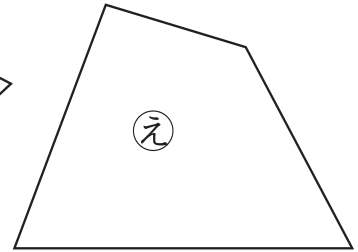
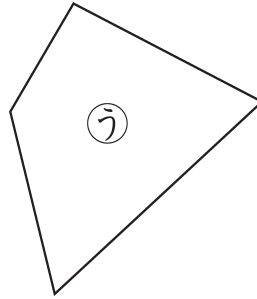
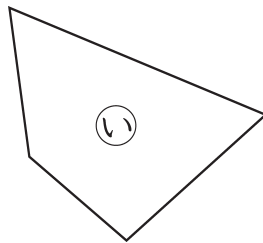
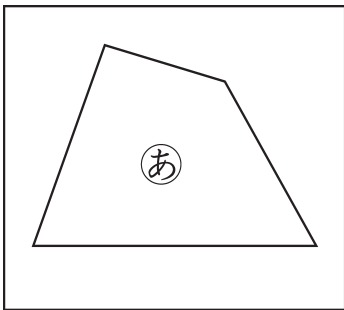
考技 (知)

① () の中に言葉を書きましょう。

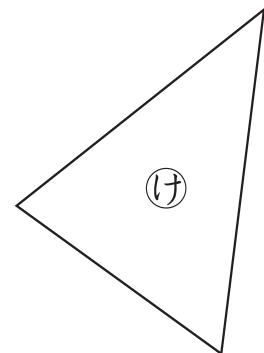
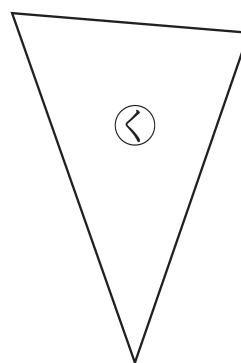
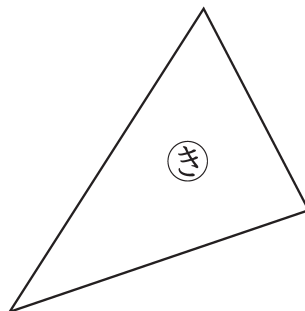
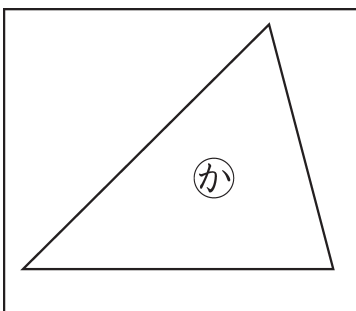
2つの図形がきちんと重なるとき、これらの図形は () であるといいます。

② 次の㉞や㉟の図形と合同な図形を見つけましょう。

() の中に記号を書きましょう。



㉞の図形と合同な図形 ()



㊳の図形と合同な図形 ()

4. 合同な図形 ②

名前

組 番

ねらい 合同な図形の、対応する頂点、辺、角について理解する。

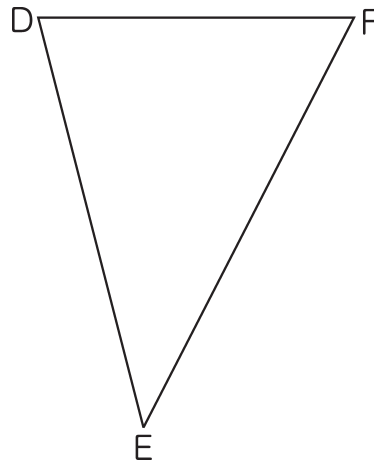
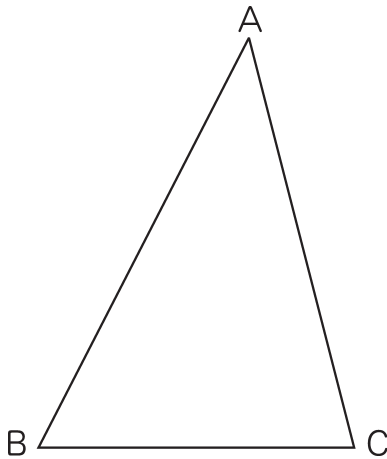
考技 ⑨

① () の中に言葉を書きましょう。

① 合同な図形では、() する辺の長さは () になっています。

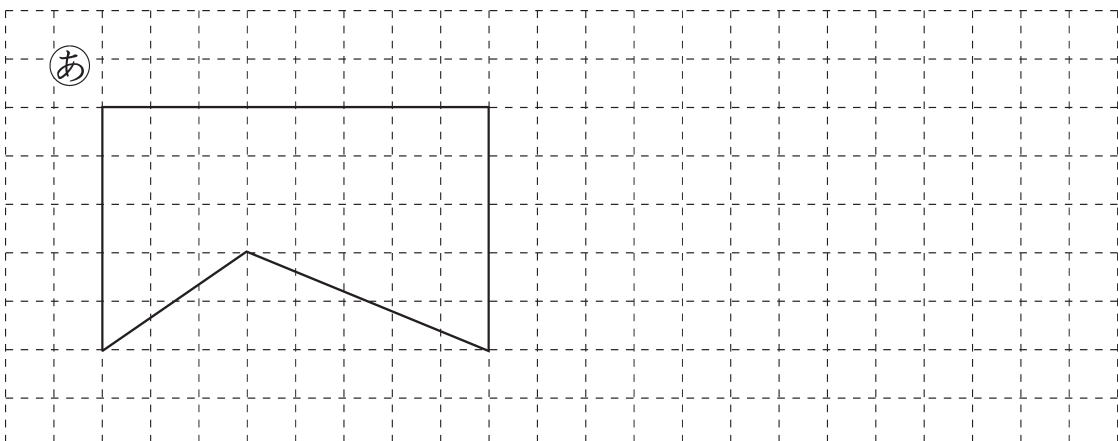
また、対応する () の大きさも () になっています。

② 下の2つの三角形は合同です。^{たいおう} 対応する頂点、辺、角を書きましょう。



- ① (頂点Aと 、 頂点Bと 、 頂点Cと)
- ② (辺ABと 、 辺BCと 、 辺CAと)
- ③ (角Aと角 、 角Bと 、 角Cと)

③ 下の方眼に、^{ほうがん} ㊦ と合同な図形をかきましょう。



24

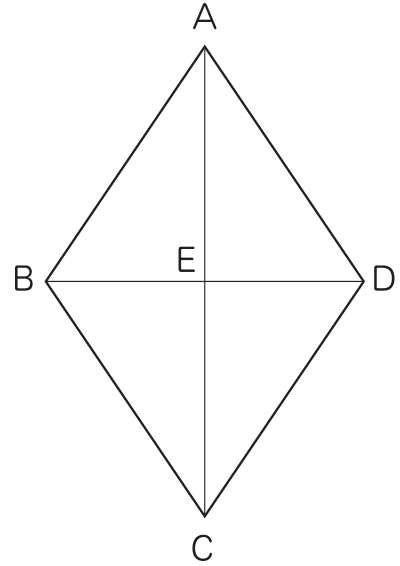
4. 合同な図形 ③

名前

組 番

ねらい ひし形や平行四辺形などに対角線をかいたときにできる三角形が合同であることを理解している。 考技(知)

1 右のひし形に2本の対角線をかきました。
次の①～③の図形と合同な図形をすべて記号で書きましょう。



① 三角形ABCと合同な三角形

()

② 三角形ABDと合同な三角形

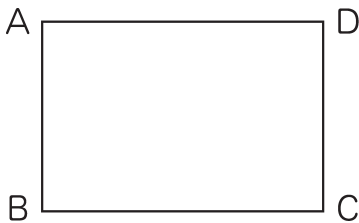
()

③ 三角形ABEと合同な三角形

()

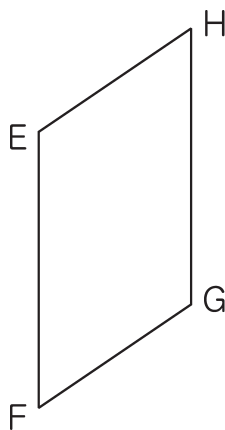
2 次の四角形に1本の対角線をかいて、できた2つの三角形が合同かどうか調べ、合同になる図形をすべて記号で書きましょう。

①



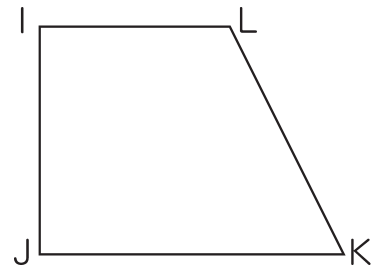
(長方形)

②



(平行四辺形)

③



(台形)

4. 合同な図形 ④

名前

組 番

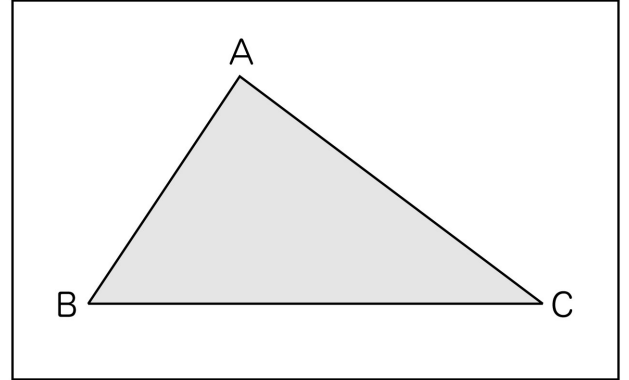
ねらい 合同な三角形の作図に必要な構成要素を考えている。

④ 技知

① 右の三角形ABCと合同な三角形の
かき方を考えましょう。

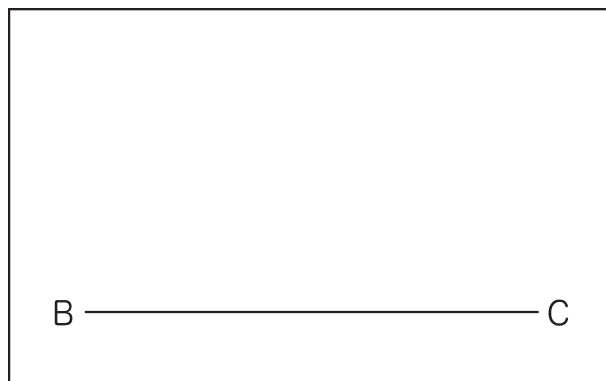
- 辺BC^{たいおう}に対応する辺をかきました。
頂点Aに対応する頂点の位置を決めるには、どんなことを調べればよいでしょうか。

次の①～⑥の調べ方で頂点の位置が決まるものには○、決まらないものには×を()の中に入れて書きましょう。



- ① () 辺AB、辺ACの長さを調べる。
- ② () 角Bの大きさ、辺ABの長さを調べる。
- ③ () 角C、角Aの大きさを調べる。
- ④ () 角Bと角Cの大きさを調べる。
- ⑤ () 辺ABの長さを調べる。
- ⑥ () 辺ABの長さ、角Cの大きさを調べる。

② 定規、コンパス、分度器を使ってかこう。



4. 合同な図形 ⑤

名前

組 番

ねらい 合同な三角形の作図の仕方を理解している。

考(技)(知)

① 辺の長さや角の大きさが、次のような三角形をかきましょう。

① 3つの辺 5 cm、6 cm、8 cm

② 1つの辺 6 cm、その両はしの角 80° 、 60°

③ 2つの辺 7 cm、4 cm、
その間の角 120°

② 下の () にはあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

合同な三角形は、三角形の3つの辺と3つの角の大きさのうち、下の㉞㉟㊱のどれかが分かれば、かくことができます。

㉞ □ つの辺の長さ

㉟ 2つの辺の長さと () の角の大きさ

㊱ □ つの辺の長さと () の角の大きさ

4. 合同な図形 ⑥

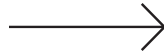
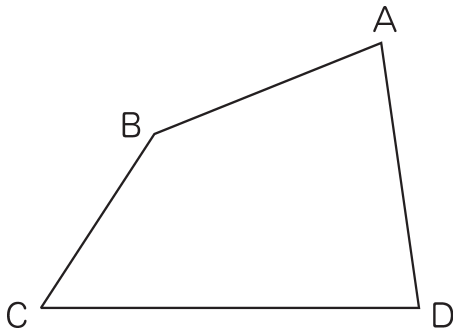
名前

組 番

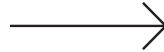
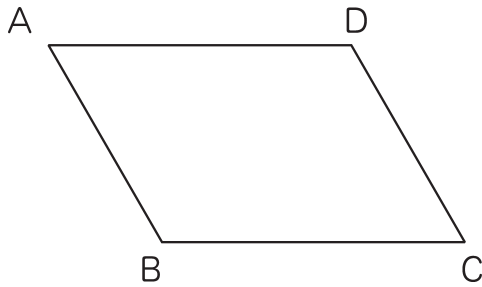
ねらい 合同な四角形を作図することができる。

考(技)(知)

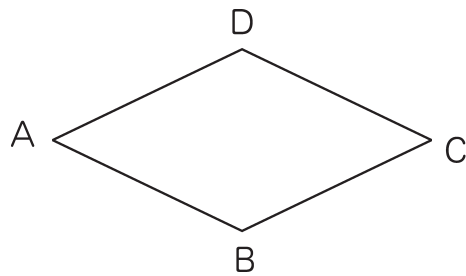
① 下の四角形ABCDと合同な四角形をかきましょう。



② 下の平行四辺形ABCDと合同な平行四辺形をかきましょう。



③ 下のひし形ABCDと合同なひし形をかきましょう。



4. 合同な図形 ⑦

名前

組 番

ねらい

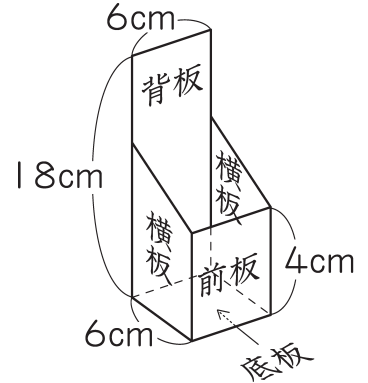
身の回りの事象を数理的にとらえ、合同な図形の学習などを活用して問題解決することができる。

考(技)(知)

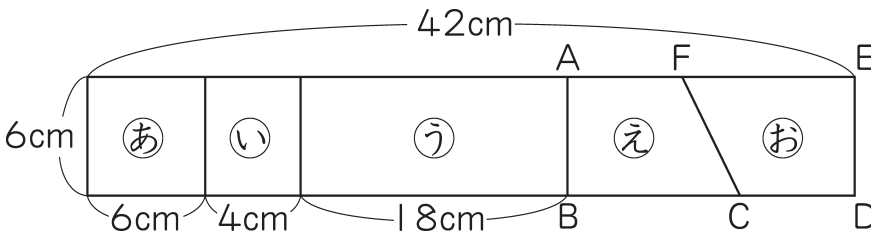
① たて6cm、横42cmの長方形の板を下図のように切って、右のようなペン立てを組み立てます。

前板、背板、底板は、それぞれ①から⑥のどの板を使うでしょうか。

また、2つの横板を合同な台形にするとき、台形②の辺AF、BCはそれぞれ何cmになるでしょうか。



できあがり図



① 前板、背板、底板は、それぞれ①から⑥のどの板でしょうか。

前板 () 背板 () 底板 ()

② 辺AFは何cmでしょうか。

③ 辺FEは何cmでしょうか。式に書いて求めましょう。

<式> =

④ 辺BCは何cmでしょうか。

5. 小数のわり算 ①

名前

組 番

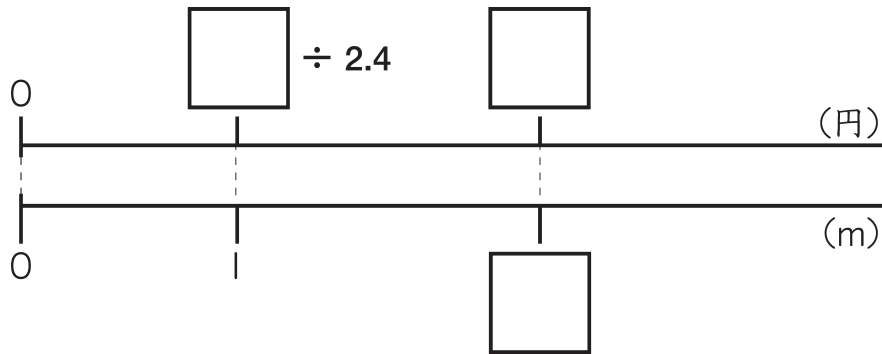
ねらい

数直線をもとに、除数が小数でも除法の式で表せることを理解する。

考技 (知)

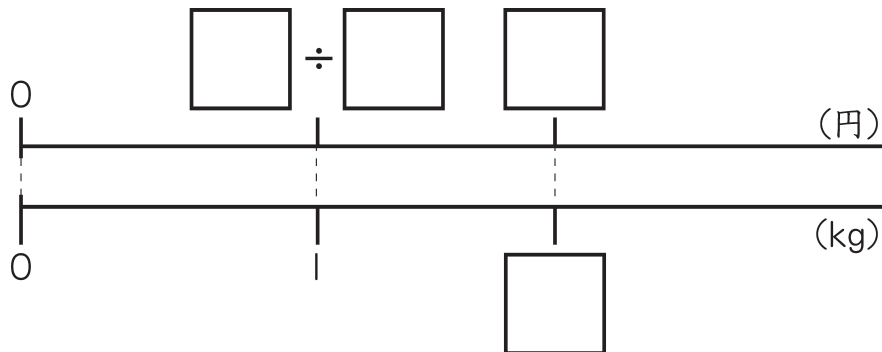
1 次の問題を数直線で表し、式を考えましょう。

- ① 2.4mの代金が60円のリボンがあります。
このリボン1mのねだんは何円でしょうか。



<式>

- ② 900円で1.8kgの米を買うことができました。
この米1kgのねだんは何円でしょうか。



<式>

5. 小数のわり算 ②

名前

組 番

ねらい 整数÷小数の除法計算の仕方を考える。

考技 ⑨

① 1.2mの代金が96円のリボンがあります。
このリボン1mのねだんは何円でしょうか。

① 1mのねだんを求める式を書きましょう。

()

② せらんさんとたくとさんが代金の求め方を説明しています。
2人の説明と同じ図と式を選んで、記号を () の中に書きましょう。

せらん：1mのねだんは、0.1mの代金の10倍になるので、まずは0.1mの代金を求め
てから10倍して1mのねだんを求めます。

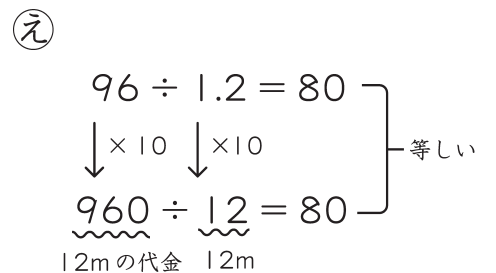
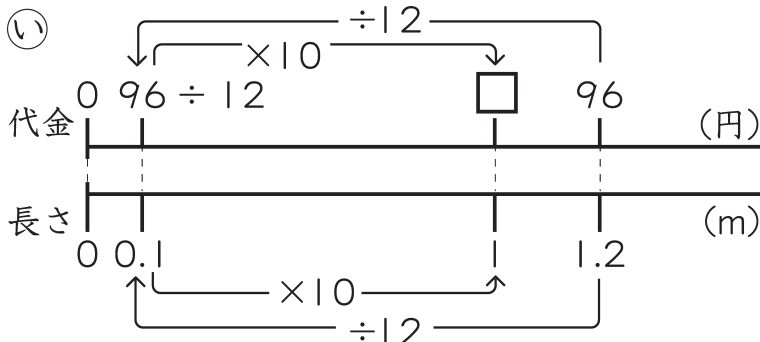
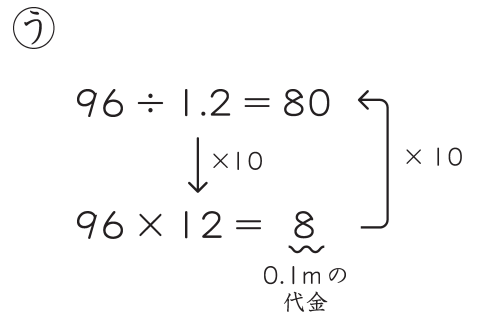
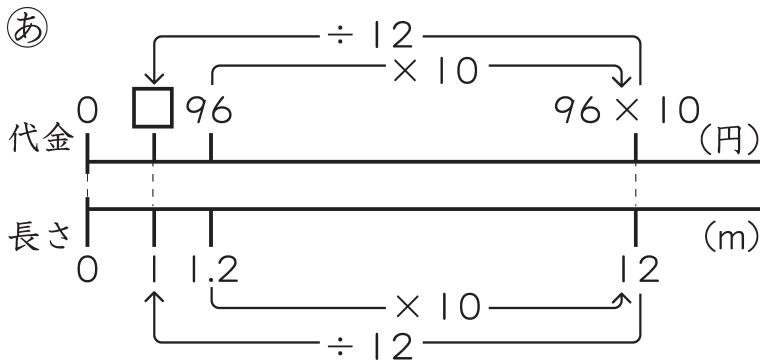
図 () 式 ()

たくと：12mの代金をもとにしても1mのねだんは変わらないので、リボンの長さ
と代金を10倍して、1mのねだんを求めます。

図 () 式 ()

<図>

<式>



5. 小数のわり算 ③

名前

組 番

ねらい 小数÷小数の除法計算を理解し、筆算ができる。

考技 (知)

① 4.8÷1.5の筆算のしかたについて説明した文です。

() にはあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① 4.8÷1.5を筆算の形に書く。

② わる数を () にするために、

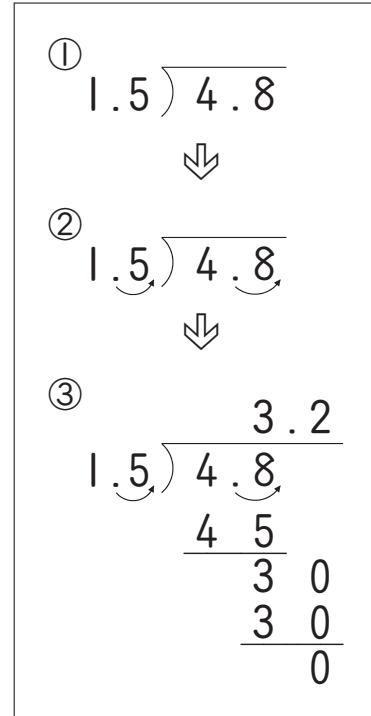
□ 倍する。

商が変わらないように、わられる数も

□ 倍する。

すると小数点が1けた () へ移る。

③ あとはそのまま計算をして商を求める。



①

$$\begin{array}{r} 1.5 \overline{) 4.8} \\ \downarrow \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 1.5 \overline{) 4.8} \\ \downarrow \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 3.2 \\ 1.5 \overline{) 4.8} \\ \underline{45} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

② 次の計算を筆算でしましょう。

① 8.5÷3.4

② 34.8÷0.8



32

5. 小数のわり算 ④

名前

組 番

ねらい

被除数が1/100の位まで、商が0になる場合の除法計算の仕方を理解し、筆算の仕方をまとめる。

考技 ⑧

① 次の計算を筆算でしましょう。

① $9.86 \div 2.9$

② $17.64 \div 4.9$

③ $6.24 \div 9.6$

④ $0.54 \div 4.5$

⑤ $8.16 \div 9.6$

⑥ $0.09 \div 4.5$

33

5. 小数のわり算 ⑤

名前

組 番

ねらい

除数が1/100の位までの除法計算の仕方を理解し、筆算の仕方をまとめる。

考技 ①知

① 次の筆算をわり切れるまで計算しましょう。

① $8.715 \div 4.98$

② $0.161 \div 0.35$

③ $6.86 \div 2.45$

④ $11.28 \div 2.35$

⑤ $0.336 \div 0.42$

⑥ $0.98 \div 0.245$



34

5. 小数のわり算 ⑥

名前

組 番

ねらい

1/10の位までの小数÷1/100の位までの小数・整数÷小数の除法計算の仕方をまとめる。

考技(知)

① 次の計算を筆算でしましょう。

① $8.6 \div 3.44$

② $3.8 \div 4.75$

③ $5.58 \div 1.24$

④ $0.8 \div 0.25$

⑤ $5 \div 2.5$

⑥ $24 \div 3.75$

ねらい 除数と商の大きさの関係を理解する。

考技 (知)

① 次の () の中にあてはまることばを書きましょう。

わり算では、1より小さい数であると、商は ()
より大きくなります。

② 次の□の中にあてはまる不等号を書きましょう。

① $130 \div 0.8$ □ 130

② $130 \div 1.02$ □ 130

③ $0.7 \div 25$ □ 0.7

④ $0.28 \div 0.09$ □ 0.28

③ 商が12より小さくなるのはどれでしょうか。記号で答えましょう。

① $12 \div 1.95$

② $12 \div 0.03$

③ $12 \div 1.02$

④ $12 \div 2.1$

⑤ $12 \div 0.89$

答え ()

④ 商が□より大きくなる式はどれでしょうか。記号で答えましょう。

① □ $\div 3.2$

② □ $\div 0.09$

③ □ $\div 1.09$

④ □ $\div 0.4$

⑤ □ $\div 8$

答え ()

5. 小数のわり算 ⑧

名前

組 番

ねらい

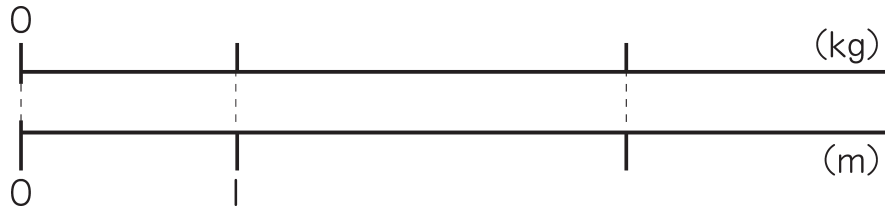
商を四捨五入して概数で表す場合の除法計算を理解する。

考技 (知)

① 2.8mの鉄の棒^{ぼう}の重さをはかったら、10.6kgでした。

この鉄の棒1mの重さは何kgでしょうか。

① 上の問題を数直線に表しましょう。求める重さを□にしましょう。



② ①の数直線から式を書きましょう。

<式>

③ 商は四捨五入して、上から2けたのがい数で求めましょう。

答え _____

5. 小数のわり算 ⑨

名前

組 番

ねらい 小数の除法のあまりの大きさについて理解する。

考技 (知)

① 次の () の中にあてはまる言葉を書きましょう。

小数のわり算では、あまりの小数点は、() の
もとの小数点にそろえてうちます。

② 1.8mのひもを、0.4mずつ切っていきます。
0.4mのひもは、何本できて、何mあまるでしょうか。

① 式を書きましょう。

<式>

② 商は何の位まで求めればよいでしょうか。

() の位まで

<筆算>

③ 筆算をして、商とあまりを求めましょう。
また、答えも求めましょう。

商 あまり

答え _____

③ 85.8cmのテープを7.5cmずつ切っていきます。
7.5cmのテープは何本できて、何cmあまるでしょうか。

<式>

答え _____

<筆算>

5. 小数のわり算 ⑩

名前

組 番

ねらい 小数の倍（第一用法）を理解する。

考技 ⑩

① 2.5kgのみかんが入った箱①と、3.5kgのみかんが入った箱②があります。

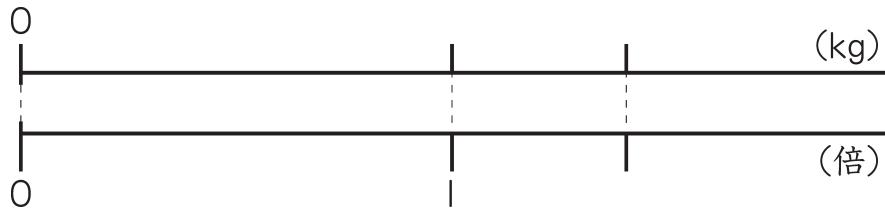
②の箱の重さは、①の箱の重さの何倍でしょうか。

① 次の（ ）の中には、①、②のどちらがあてはまるでしょうか。

（ ）の重さを1とみたとき、（ ）の重さはどれだけにあたるかを

求める問題です。

② 求める重さを□にして、問題の場面を数直線に表しましょう。



③ 式に表して、答えを求めましょう。

<筆算>

<式>

答え _____

5. 小数のわり算 ⑪

名前

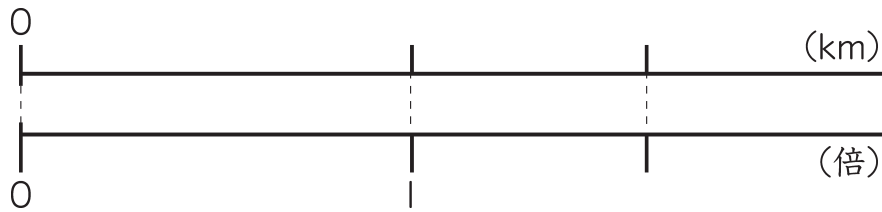
組 番

ねらい 小数の倍（第二用法・第三用法）を理解する。

考技 (知)

① ひろ子さんの家から学校までの道のりは1.2kmです。これは家から公園までの道のりの1.6倍です。家から公園までの道のりは何kmでしょうか。

① 求める数を□として、問題の場面を数直線に表しましょう。



② かけ算の式に表して、答えを求めましょう。

<式> $\square \times 1.6 = 1.2$

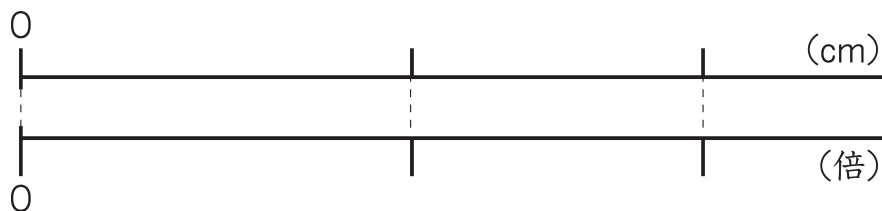
$\square =$

$\square =$

答え _____

② あるゴムひもをいっぱいまでのばすと、もとの長さの1.8倍の長さになります。このゴムひものもとの長さが4.5cmのとき、いっぱいまでのばした長さは何cmになるでしょうか。

① 求める数を□として、問題の場面を数直線に表しましょう。



② 式に表して、答えを求めましょう。

<式>

答え _____

40

6. 整数の性質 ①

名前

組 番

ねらい 偶数・奇数の意味、性質を理解する。

考技 (知)

① 次の□には数を、()には言葉を書きましょう。

2でわったとき、わりきれぬ整数を()といい、

わりきれぬで □ あまる整数を奇数といいます。

② 次の整数を、偶数と奇数に分けましょう。

0、 13、 47、 58、 95、 102、 116、 179

偶数

奇数

③ 次の計算をしたら、答えは偶数でしょうか、奇数でしょうか。

① 偶数 + 偶数 = ()

② 偶数 + 奇数 = ()

③ 奇数 + 奇数 = ()

④ 偶数 × 偶数 = ()

⑤ 偶数 × 奇数 = ()

⑥ 奇数 × 奇数 = ()

6. 整数の性質 ②

名前

組 番

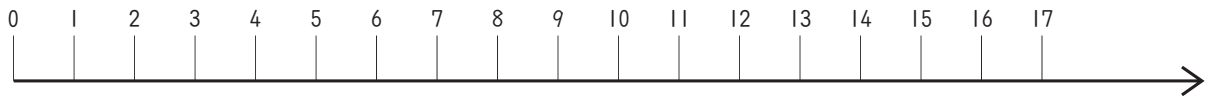
ねらい 倍数の意味を理解する。

考(技)(知)

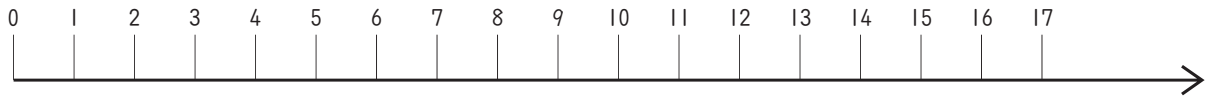
① ある整数を整数倍してできる数を、
もとの整数の () といいます。

② 下の数直線で、2、3、4、の倍数にあたる数を○で囲みましょう。

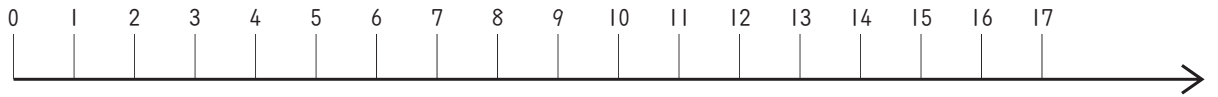
① 2の倍数



② 3の倍数



③ 4の倍数



③ 次の整数の倍数を小さい方から5つ書きましょう。

① 8の倍数 ()

② 13の倍数 ()

④ 次の整数の中から7の倍数、9の倍数、12の倍数になっているものをそれぞれ選びましょう。

5、12、14、20、27、45、60、63、105、117、168、180、203

① 7の倍数 ()

② 9の倍数 ()

③ 12の倍数 ()

42

6. 整数の性質 ③

名前

組 番

ねらい 公倍数の意味を理解する。

考技(知)

① 次の () の中にあてはまる言葉を書きましょう。

いくつかの整数に共通な倍数を、それらの整数の () といいます。

② 3と5の公倍数を見つけます。次の問いに答えましょう。

① 3の倍数の中から5の倍数でもある数と、5の倍数の中から3の倍数でもある数に○をつけましょう。

3の倍数 (3、6、9、12、15、18、21、24、27、30)

5の倍数 (5、10、15、20、25、30)

② 3の倍数で、5の倍数でもある、3と5の公倍数を書きましょう。

()

③ 次の2つの数の倍数をそれぞれ小さい順に5つずつ書きましょう。

また、その中から2つの数の公倍数を書きましょう。

① (4、6)

4の倍数 ()

6の倍数 ()

4と6の公倍数 ()

② (8、10)

8の倍数 ()

10の倍数 ()

8と10の公倍数 ()

ねらい 公倍数の見つけ方、最小公倍数の意味を理解する。

考技 (知)

① 次の () の中にあてはまる言葉を書きましょう。

公倍数のうち、いちばん小さい公倍数を () といいます。

② 5と6の最小公倍数を見つけます。次の問いに答えましょう。

① 5と6の公倍数に○をつけましょう。

5の倍数

(5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60)

6の倍数

(6、12、18、24、30、36、42、48、54、60、66)

② 5と6の最小公倍数は何でしょうか。

()

③ 次の () の中の数の最小公倍数は何でしょうか。

① (5、8)

② (9、12)

③ (1、4)

④ (24、36)

6. 整数の性質 ⑤

名前

組 番

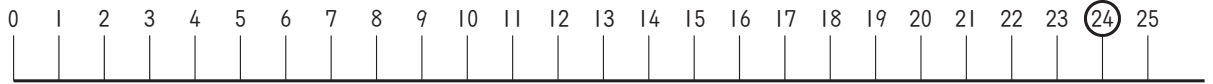
ねらい

3つの数の公倍数と最小公倍数を求めることができる。

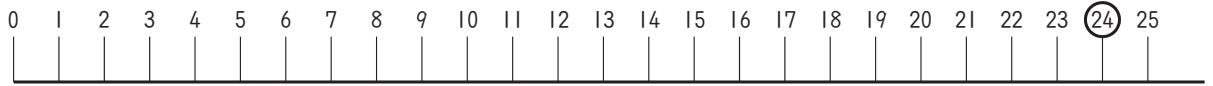
考(技)知

- ① 3と4と6の公倍数を下の数直線を使って見つけましょう。
また、最小公倍数は何でしょうか。

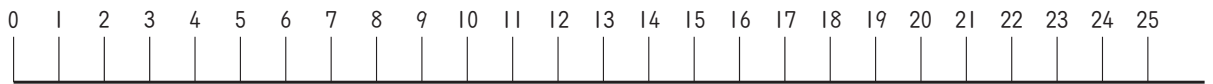
3の倍数



4の倍数



6の倍数



公倍数 () 最小公倍数 ()

- ② 次の () の中の3つの数の公倍数を小さい順に3つ書きましょう。
また、最小公倍数は何でしょうか。

① (3、6、9)

公倍数 () 最小公倍数 ()

② (2、4、8)

公倍数 () 最小公倍数 ()

③ (4、5、8)

公倍数 () 最小公倍数 ()



45

6. 整数の性質 ⑥

名前

組 番

ねらい 約数の意味を理解する。

考技 (知)

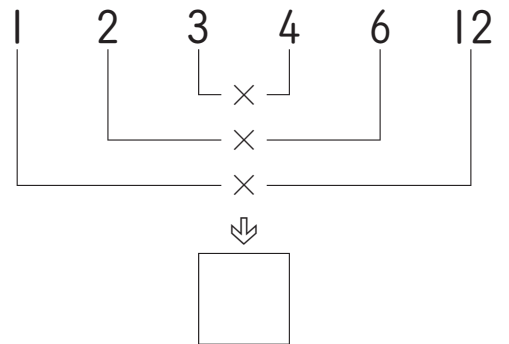
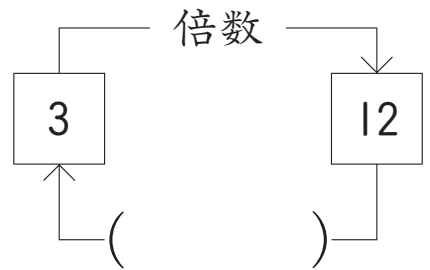
1 次の□には数を、()には言葉を書きましょう。

① ある整数をわりきることのできる整数を、もとの整数の()といいます。

② 12の約数は、1、2、□、4、□、12の6つです。

③ 12は、1、2、3、4、6、12の()になっています。

④ 12の()を外側から組にしたときの積は、どれも□になります。



2 次の数の約数をすべて書きましょう。

① 24 ()

② 30 ()

③ 36 ()

6. 整数の性質 ⑦

名前

組 番

ねらい 公約数の意味を理解する。

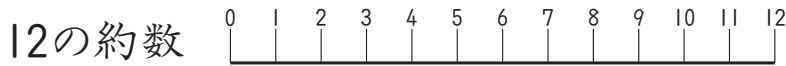
考技 (知)

① 次の () に言葉を書きましょう。

いくつかの整数に共通な約数を、それらの整数の () といいます。

② ① 下の数直線で12の約数に○をつけましょう。

また、18の約数に○をつけましょう。



② 12と18の公約数を下に書きましょう。

12と18の公約数 ()

③ 次の () の中の2つの数の約数を、それぞれすべて書きましょう。

また、2つの数の公約数をすべて書きましょう。

① (18、24) 18の約数 ()

24の約数 ()

18と24の公約数 ()

② (12、16) 12の約数 ()

16の約数 ()

12と16の公約数 ()

6. 整数の性質 ⑧

名前

組 番

ねらい 公約数の見つけ方、最大公約数の意味を理解する。

⑧ 考 技 知

① 次の () に言葉を書きましょう。

公約数のうち、いちばん大きい公約数を () といいます。

② 12と18の公約数の見つけ方を考えましょう。

①と②のそれぞれの考え方で調べてみましょう。

① それぞれの約数を順に調べます。公約数に○をつけましょう。

12の約数 1、2、3、4、6、12

18の約数 1、2、3、6、9、18

② 12の約数の中で18の約数でもある数に○をつけましょう。

12の約数 1、2、3、4、6、12

③ () の中の数の公約数をすべて書きましょう。

また、最大公約数は何でしょうか。

① (10、20) 公約数 ()

最大公約数 ()

② (36、64) 公約数 ()

最大公約数 ()

④ 次の () に言葉を書きましょう。

公約数は最大公約数の () になっています。

6. 整数の性質 ⑨

名前

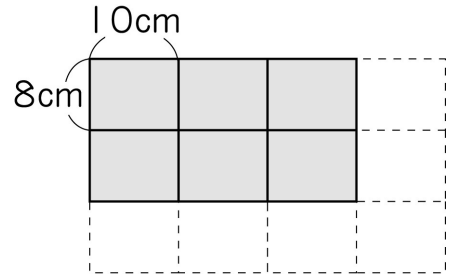
組 番

ねらい

倍数、約数を日常生活の場面に活用する問題を解決し、
整数の性質について理解を深める。

考技 (知)

1 たて8cm、横10cmの長方形の紙を、右の図のように同じ向きにならべて正方形を作ります。



① できる正方形のなかで、いちばん小さい正方形の一辺の長さは何cmになるでしょうか。

<考え方>

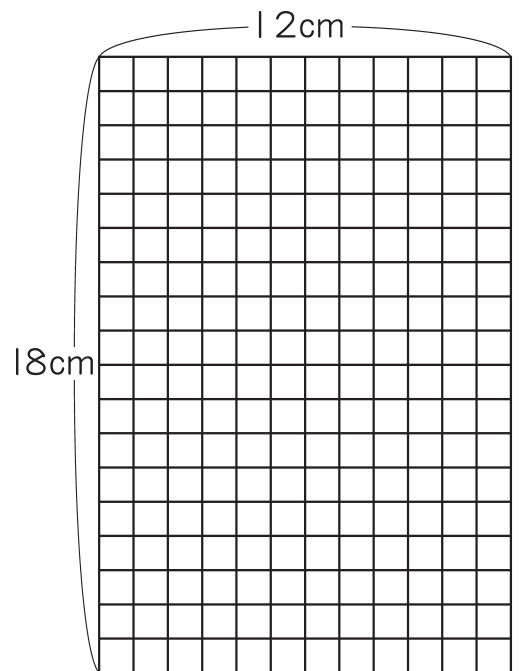
答え _____

② いちばん小さい正方形を作るのに、長方形の紙は何まい必要でしょうか。

<式>

答え _____

2 たてが18cm、横が12cmの1目1cm^{ほうがんし}の方眼紙があります。これを目まりの線にそって切り、紙の余りがでないように、同じ大きさの正方形に分けたいと思います。



① できるだけ大きな正方形に分けるには、一辺を何cmにすればよいでしょうか。

<考え方>

答え _____

② ①の正方形は、全部で何まいできるでしょうか。

<式>

答え _____

49

6. 整数の性質 ⑩

名前

組 番

ねらい 素数について理解する。

考技 (知)

① 次の□に数を、()に言葉を書きましょう。

□ とその数以外に約数のない整数を () といいます。

1は () とはしません。

② 21から30までの整数の中から素数を見つけましょう。

()

③ 下の31から100までの数表の中の整数で、素数に○をつけましょう。

31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

50

☆ 奇数と偶数に分けて

名前

組 番

ねらい

煩雑な計算を必要とする場面で決まりを見つけ、
効率よく問題を解決し、論理的思考力を伸ばす。

③ ④ 知

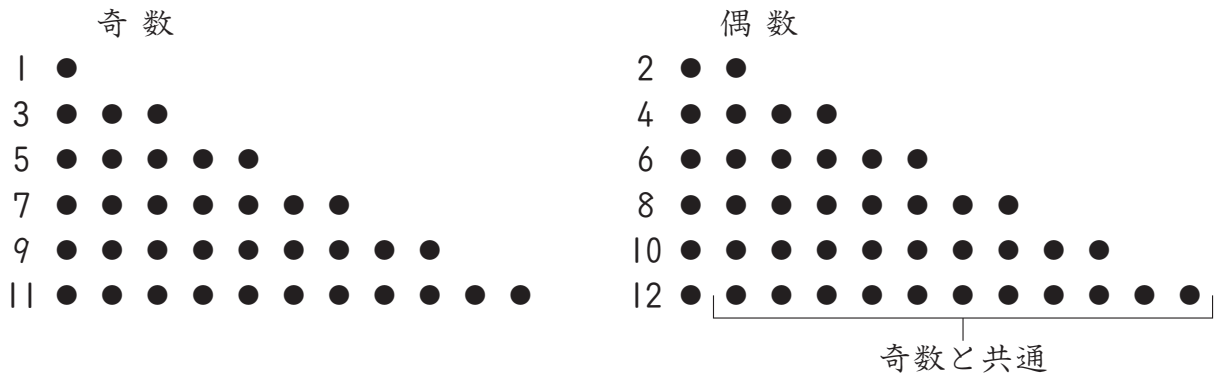
1 1から20までの20個の整数を奇数と偶数に分けて、それぞれの合計の差を求めます。
差はいくつになるでしょうか。

① 1から20までの整数の中に奇数と偶数は何個ずつあるでしょうか。

奇数 個

偶数 個

② 奇数と偶数を下のような図に表してみました。



この図を参考にして、1から20までの整数の奇数と偶数の合計の差を求めてみましょう。

<式または自分の考え>

答え _____

2 上の考えをもとにして、1から50までの整数の奇数と偶数の合計の差を求めてみましょう。

<式または自分の考え>

答え _____